

会 社 名 アイフル株式会社

代 表 名 代表取締役社長 福田 光秀

問 合 せ 先 IR広報課 TEL 03-4503-6050

アイフルグループ中期経営2カ年計画の策定のお知らせ

アイフル株式会社（代表取締役社長：福田光秀）は、2024年3月期を最終年度とする中期経営2カ年計画を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

【記】

1. 目標とする経営指標

当社グループは、「誠実な企業活動を通じて、社会より支持を得る」を経営理念として、お客様の健全な消費活動や事業活動のサポートを通じて経済社会に貢献することを使命とし、「環境変化に応じた組織・制度の変革とデジタル技術の活用による、IT金融グループとしての成長」を目指しております。

当社グループは、企業価値の向上を目指し、安全性の指標となる自己資本比率の向上を図りつつ、収益性及び効率性の観点から、総資産経常利益率（ROA）及び自己資本利益率（ROE）を重要な指標としております。

安全性・収益性・成長性の指標

安全性	自己資本比率	20%
収益性	ROE	10%超
	ROA	2%超
成長性	営業アセット	10%成長

2. 経営テーマ・重点施策

本中期経営2カ年計画では、経営テーマとして「Go (new) Standard ～お客様志向の深化～」を掲げ、経営テーマを具現化させるため、事業多角化、海外ビジネス強化等による「事業ポートフォリオの分散」とIT技術分析、システム内製化等の「デジタル技術の利活用」に重点をおいて取り組んでまいります。

経営テーマ	Go (new) Standard ～お客様志向の深化～
重点施策	10年先を見据えた重点施策・指針 -IT金融グループへ基盤を整える-
	(1)Design & Create -ブランディング・ビジネスデザイン-
	(2)Data Driven -データ主導・データ駆動-
	(3)Digital Innovation -デジタル化・省力化の推進-

Go (new) Standard.

～ お客様志向の深化 ～



これからの2年間においては、会社を大きく変化させるのではなく、これまで対応出来ていなかったことや、仕組み・システム対応などを顧客中心主義に基づいて“標準（普通）に戻す”必要があると考えております。今回の経営テーマ【Go (new) Standard】は、「標準（普通）に戻す」ことであり、Go (new) Standard とは、「普通」がアイフルグループにとって新しい標準であることを意味し、アイフルグループがデジタルビジネス時代を勝ち残るために、顧客中心主義を推進し、社会の標準を取り戻していくことを経営テーマとしております。

重点施策

「Go (new) Standard ～お客様志向の深化～」というテーマの下で事業戦略を進めていくにあたり、本中期経営2カ年計画では、以下の3つの重点施策を定めました。



(1) Design & Create -ブランディング・ビジネスデザイン-

- ・お客様視点でのサービス拡充とアイフルブランドの活用
- ・積極的な M&A と事業ポートフォリオの多角化
- ・人事制度の見直しと社員の意識改革による従業員エンゲージメントの向上

(2) Data Driven -データ主導・データ駆動-

- ・データ分析力向上による与信力の最大化と高 LTV 顧客の追求
- ・収益の最大化と費用の最小化による利益構造改革の推進

(3) Digital Innovation -デジタル化・省力化の推進-

- ・IT リテラシー向上および業務のデジタル化推進による生産性向上
- ・デジタル技術の活用による広告効率の最大化

3. 連結業容・業績目標

連結営業債権残高（営業債権ベース）

単位：億円	22/3（実績）	23/3（E）	24/3（E）
営業債権合計	8,874	9,953	11,200
営業貸付金残高	5,823	6,359	6,970
割賦売掛金残高	1,167	1,433	1,630
支払承諾見返	1,726	2,036	2,440

連結主要利益数値（会計ベース）

単位：億円	22/3（実績）	23/3（E）	24/3（E）
営業収益	1,320	1,426	1,570
営業貸付金利息	763	827	910
包括信用購入あっせん収益	188	196	210
信用保証収益	157	167	180
営業利益	112	238	280
経常利益	122	240	280
ROA（%）	1.4	2.4	2.4
ROE（%）	8.2	13.0	12.4

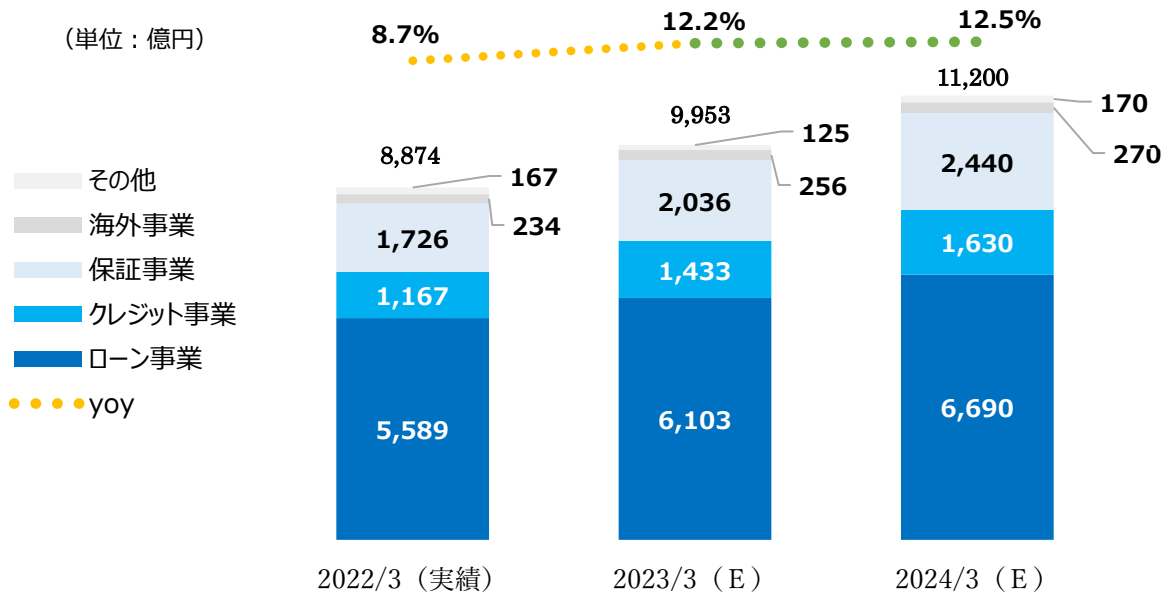
※表内下線部について、誤りがございましたので修正しております。

4. 事業ポートフォリオ

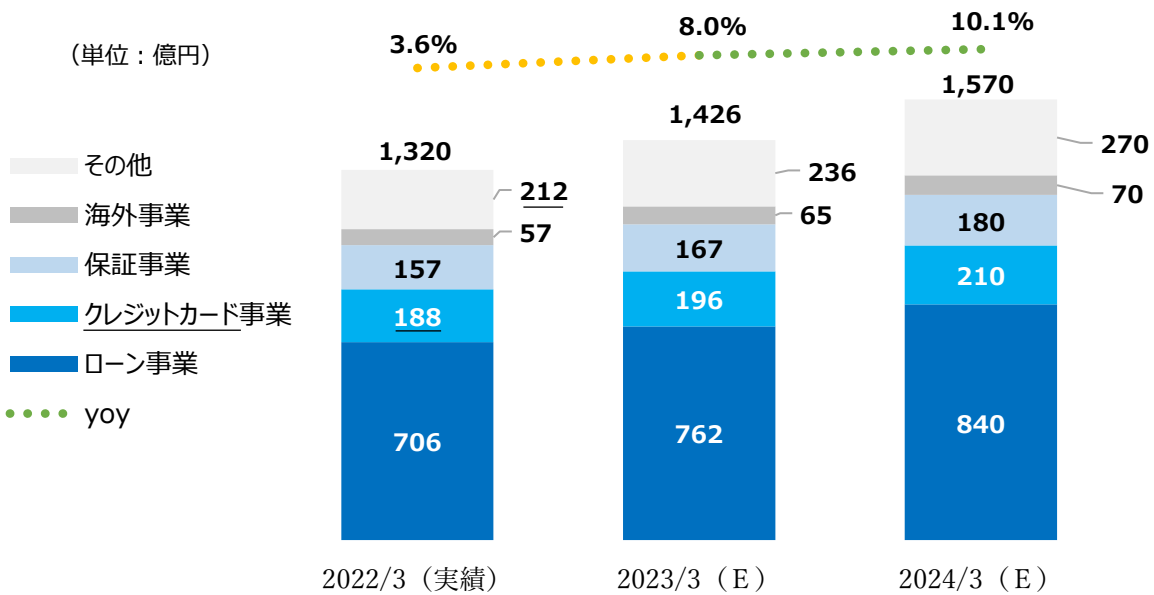
事業ポートフォリオの考え方

ローン事業に依らない安定的な収益確保を目的とし、保証事業等のフィービジネスやクレジット事業の強化など、金融事業の多角化を目指します。

営業債権残高



営業収益



※グラフ内の下線部について、誤りがございましたので修正しております。

以上